

消火設備とは屋内消火栓設備・スプリンクラー設備等、消火及び延焼防止設備の総称です。

スプリンクラー設備とは？



火災により発生した熱などを自動的に感知し、天井面などに設けられたスプリンクラーヘッドから散水し、自動的に消火する設備です。使用されるヘッドによって、開放式・放水式・閉鎖式(湿式・乾式・手動式)の3種類に分類されます。

屋内消火栓設備とは？



放水量および有効射程が大きい為、消火器では消火不可能な段階の消火を目的として屋内に設置する設備で、一般には水源・加圧装置・起動装置・消火栓箱および非常電源等で構成されています。人の操作により消火栓箱内に設置してある消火ホースを延長して大量の水を放射し消火する設備です。



屋外消火栓設備とは？



建物の1階及び2階で発生した初期火災の消火及び中期火災にも対処し、隣接建物の延焼防止のために外部からの消火作業で使用する設備で、屋内消火栓設備と同様の設備で構成されています。隣接建物への消火活動にも対処する為、屋内消火栓より水圧・放水量も多く消火能力も大きくなっています。



粉末消火設備とは？



消火剤として粉末薬剤を使用し、触媒作用によって消火する設備です。

泡消火設備とは？



水による消火方法では適さない油火災等の消火を目的としたもので泡ヘッドから放出された泡を構成する水の冷却効果と、油膜等を覆うことによる窒息効果により消火する設備です。

各設備は技術上の規格が消防庁告示によって定められています。